

当院にて膵癌でご加療された又はされている方へ

当院では「実地診療における膵癌患者の臨床的特徴と治療の検討」を実施しております。この研究は金沢大学附属病院消化器内科が中心となって、膵癌の患者さんの新しい治療法を開発するために行われる研究です。

【対象となる方】2001年4月1日より2018年4月30日までの間に当院で膵癌と診断された方

【研究の意義】膵癌に対する有効な治療法が開発が可能となります

【研究の目的】膵癌患者さんに実施された診療の実態を明らかにします

【研究の方法】この研究は、文部科学省及び厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守り、倫理委員会の承認のうえ実施されます。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や画像検査結果などのデータを収集し、治療成績や副作用に関連する因子を調べます。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【研究の期間】この研究は、2016年1月19日（当院倫理審査委員会承認後）から2020年3月31日まで実施します。

【予想される利益と不利益】この研究の成果として、膵癌に対する有効な治療法が開発が可能となる可能性があります。研究結果は、個人が特定出来ない形式で国内外の学会や医学論文に発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと保存されますが、予期できない理由により個人情報が増える危険性があります。この研究で使用するデータは、患者さんのお名前に対応する番号をつけた一覧表を作り、データの調査には個人情報の含まれない対応番号のみを使います。データの調査のときに個人情報が漏れないように、この一覧表は、データとは別に取り扱います。なお、この研究に参加することによる費用の負担や研究のためだけの新たな通院はありません。

【研究への参加の自由と同意撤回の自由】この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、2018年8月31日までに下記の間い合わせ窓口まで御連絡ください。この研究への参加はあくまでも自由意思によるものであり、不参加を申し出ても今後の治療などにおいて一切不利益を被ることはありません。ただし、不参加を申し出た時点ですでに研究の解析が終了している場合は、情報を破棄できない場合もありますのでご了承ください。なお、ご連絡をいただかなかった場合、ご了承ください。ご了承ください。

【その他】この研究の計画書や研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示します。下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

【研究組織】この研究は、金沢大学附属病院消化器内科が中心となって、下記の病院と共同で実施します。

金沢大学附属病院	教授	金子 周一
黒部市民病院	消化器内科部長	辻 宏和
厚生連滑川病院	消化器内科部長	小栗 光

富山県立中央病院	内科部長	酒井 明人
富山市民病院	副院長	樋上 義伸
富山県済生会高岡病院	院長	野田 八嗣
市立砺波総合病院	副院長	河合 博志
公立羽咋病院	院長	松下 栄紀
石川県立中央病院	消化器内科科長	土山 寿志
金沢医療センター	院長	鶴浦 雅志
金沢市立病院	消化器内科科長	大石 尚毅
金沢赤十字病院	院長	岩田 章
石川県済生会金沢病院	院長	若林 時夫
公立松任石川中央病院	副企業長	卜部 健
能美市立病院	副院長	水野 恭嗣
小松市民病院	内科医長	大村 仁志
能登総合病院	副院長	中村 勇一
患寿総合病院	副院長	宮森 弘年
金沢有松病院	内科医師	清島 淳
やわたメディカルセンター	消化器内科医長	林 武弘
河北中央病院	院長	寺崎 修一
小松ソフィア病院	理事長	加登 康洋
福井県済生会病院	院長	登谷 大修
福井県立病院	消化器内科医長	砂子阪 肇
市立敦賀病院	院長	米島 學

【研究機関名】 ○○

【問い合わせ窓口】

住所：○○

電話：○○ FAX：○○

医療機関名 ○○

診療科名 ○○

研究代表者 ○○

問い合わせ担当者名 ○○